

# 治水

発 行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区麹町4丁目8番26号 ロイクラトン麹町  
電 話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664  
ホームページ <https://zensuiren.org/>  
お問い合わせ [info@zensuiren.org](mailto:info@zensuiren.org)  
編集・発行 椿本和幸



## ● 目 次

会長年頭の挨拶 .....	2
国土交通省水管理・国土保全局長 井上 智夫 年頭所感 .....	3
令和4年度 水管理・国土保全局関係 予算決定概要 .....	4
「河川愛護月間」“絵手紙”入賞作品決定! .....	12

## 会 長 年 頭 の 挨拶



令和4年の年頭に当たり、謹んでご挨拶申し上げます。

会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から、当連合会に対する多大なご支援、ご協力に衷心より御礼申し上げます。

昨年末、令和4年度予算の政府原案が閣議決定されました。

今後、「気候変動による水災害の頻発化・激甚化」を踏えて、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を実現するため、先に成立した「令和3年度補正予算」と合わせ、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用した事前防災対策が計画的に実施される運びとなっています。

また、来年度予算（案）においては、水災害リスクを踏まえたまちづくり等の流域治水関連法を活

用した取組、国土強靱化に資する DX（デジタルトランスフォーメーション）への取組、持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けた取組等がなされることとされており、更にあらゆる関係者が協働して行う「流域治水」の考え方にに基づき、これを現場レベルで本格的に実践することが基本方針とされています。

予算を実行する原動力となる、国交省の定員については、皆様のご努力により、昨年同様、僅かではありますが、296人の純増となっています。

全水連と致しましても本年が、「気候変動による水災害の頻発化・激甚化を踏まえ、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を実現するため、流域治水の本格的実践」が始まる年と捉まえて、流域治水の対策を中長期的に計画的に実施して行くことが出来るよう、必要な予算の確保を図ることを会員の皆様をはじめ、治水事業を担当する皆様と協働し、取り組んでゆく所存でございます。さらなるご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

全国治水期成同盟会連合会  
会長 脇 雅 史

## 年 頭 所 感



国土交通省  
水管理・国土保全局長  
井上 智夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日ごろから水管理・国土保全局の所管行政の推進にご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

地球温暖化に伴う気候変動により、豪雨災害が今後さらに激甚化・頻発化すると予想されています。そのようになれば、これまでの治水対策の実施スピードでは当面の達成目標にも追いつきません。異常気象が新しい日常となりつつある中で、安全を確保し向上させるためには、気候変動への適応策として治水対策を抜本的に強化することが求められます。

国土交通省は、2018年7月の西日本豪雨や台風21号など相次ぐ災害を踏まえ、同年末に国土強靱化の出発点ともいえる「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき、河道内に堆積した土砂の掘削と繁茂した樹木の伐採・除去など、本川の流下能力を向上させる対策を重点的に進めてきました。こうした取り組みが奏功し、2018年の西

日本豪雨と比べると同じ地域で同規模の雨量を記録したにもかかわらず、河川の氾濫数は三分の一以下となりました。このように、客観的事実からも事前防災対策の重要性が立証されたといえます。災害が起こる前から対策を実施する事前防災へ予算を大きく投じることで、経済的にも大きなメリットが生まれます。

水害への対応の基本は、事前防災対策です。一度大規模な水害が発生すると、尊い人命が失われるおそれがあり、家屋、事業所に損害を与え、地域の生業に長期的に影響を与えるだけでなく、被災者に精神的な損害を与えることとなります。大都市圏が被災した場合には、被害の影響は被災地域にとどまらず、日本経済ひいては世界経済に影響を及ぼしかねません。また、被災地の復旧・復興には少なくとも数年かかるとともに、その影響が長期に及ぶ場合には地域経済は疲弊することとなります。災害発生を未然に防止する方が経済的にも割に合うことは自明です。

皆様が、日々「治水」の推進に熱心に取り組んでおられることに改めて敬意を表します。今年は、「流域治水の本格的実践」が始まる年になります。流域治水関連法の施行により、法的枠組みの運用が開始されます。また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」も活用して事前防災対策を推進し、少しでも早く安全が向上するよう取り組んでまいりますので、本年もよろしく願いいたします。

# 令和4年度

## 水管理・国土保全局関係 予算決定概要

令和3年 12 月

国土交通省 水管理・国土保全局

## 令和4年度予算の基本方針

### 基本方針

気候変動による水災害の頻発化・激甚化を踏まえ、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を実現するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」も活用した事前防災対策を完成年度の目標を持って計画的に実施するとともに、水災害リスクを踏まえたまちづくり等の流域治水関連法を活用した取組、国土強靱化に資する DX の取組、持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けた取組等について、あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」の考え方に基づき現場レベルで本格的に実践する。

- ・ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」の本格的実践
- ・国土強靱化に資する DX の推進
- ・インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスサイクルの実現
- ・カーボンニュートラルの推進
- ・水辺空間の良好な環境と賑わいの創出による地方活性化の推進

**予算の規模**

○一般会計予算 10,021億円

一般公共事業費	9,517億円	うち、河川関係7,349億円、砂防関係1,384億円、海岸関係170億円、下水道関係614億円
災害復旧関係費	505億円	

○東日本大震災復興特別会計予算(復興庁所管) 41億円

**予算の内訳**

○一般会計予算(国費)

単位：億円

事 項	令和4年度	前 年 度	対前年度 倍 率
<b>一般公共事業費</b>	<b>9,517</b>	<b>9,143</b>	<b>1.04</b>
治山治水	8,654	8,458	1.02
治水	8,484	8,308	1.02
海岸	170	149	1.14
住宅都市環境整備	249	249	1.00
都市水環境整備	249	249	1.00
下水道	614	437	1.41
<b>災害復旧関係費</b>	<b>&lt;527&gt;</b> <b>505</b>	<b>&lt;519&gt;</b> <b>502</b>	<b>&lt;1.01&gt;</b> <b>1.00</b>
<b>合 計</b>	<b>10,021</b>	<b>9,646</b>	<b>1.04</b>

1. 上記計数には、
  - (1) デジタル庁一括計上分を含まない。
  - (2) 個別補助化に伴う増分 331 億円を含む。
2. <>書きは、水管理・国土保全局以外の災害復旧関係費の直轄代行分を含む。  
(上記以外に、行政経費 9 億円があるほか、省全体で社会資本整備総合交付金 5,817 億円、防災・安全交付金 8,156 億円がある。)

○東日本大震災復興特別会計予算(復興庁所管)

単位：億円

事 項	令和4年度	前 年 度	対前年度 倍 率
<b>災害復旧関係費</b>	41	74	0.55

(上記以外に、省全体で社会資本総合整備(復興) 103 億円がある。)

(四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。)

**主要項目****治水事業等関係費・下水道事業関係費****1. ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」の本格的実践** [5,874億円]

気候変動による水災害の頻発化・激甚化に対応するため、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」を推進し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速するとともに、流域治水関連法の完全施行を踏まえ、水害リスク情報の充実や水災害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくりを積極的に推進。

**2. 国土強靱化に資する DX の推進** [77億円]

3日程度先の水位予測情報の提供等による洪水予測の高度化などの情報分野での流域治水の取組を加速するとともに、デジタル技術の活用・新技術の導入等による施設の整備・管理や河川の利用等に関する手続きの省力化・効率化の取組を推進。

**3. インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスサイクルの実現**

[2,251億円]

予防保全によるライフサイクルコストの縮減・平準化を図るため、長寿命化計画に基づく定期点検等により確認された修繕・更新が必要な施設への対策を加速するとともに、新技術の積極的な活用等により効率的かつ持続可能なメンテナンスサイクルを実現。

**4. カーボンニュートラルの推進** [52億円]

カーボンニュートラルの実現に向けて、温室効果ガス削減効果の高い創エネ・一酸化二窒素対策を集中的に支援するとともに、革新的な創エネ・省エネ技術の現地実証の支援により、下水道事業の脱炭素化を推進。

**5. 水辺空間の良好な環境と賑わいの創出による地方活性化の推進** [90億円]

かわまちづくりによる賑わいある良好な水辺空間の創出や河川を基軸とした生態系ネットワークの形成など、地域の特色を活かした魅力的な地域づくりによる地方活性化を推進。

※上記以外に、災害復旧関係費505億円、行政経費9億円、東日本大震災からの復旧関係費41億円、工事諸費等があるほか省全体で社会資本整備総合交付金5,817億円、防災・安全交付金8,156億円、社会資本総合整備(復興)103億円がある。

## 新規事項等

### ●新規事項

#### 【ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」の本格的実践】

##### ＜水害リスク情報の充実＞

###### ➤ 水害リスク情報整備推進事業の創設(防災・安全交付金)

近年、中小河川における水害リスク情報の提供を行っていないエリアで多くの浸水被害が発生していることから、早急に水害リスク情報の空白域を解消するため、浸水想定区域図等の作成を支援する「水害リスク情報整備推進事業」を創設。

###### ➤ 内水浸水リスクマネジメント推進事業の創設(防災・安全交付金)

気候変動の影響により大雨等が頻発し、内水氾濫による浸水被害が発生していることから、内水浸水リスクを低減するため、雨水出水浸水想定区域図や雨水管理総合計画の策定、避難行動に資する情報・基盤整備を支援する「内水浸水リスクマネジメント推進事業」を創設。

##### ＜流域治水関連法を活用した水災害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり＞

###### ➤ 流域治水整備事業及び特定都市河川浸水被害対策事業の創設(直轄事業・個別補助事業)

特定都市河川において浸水被害防止区域・貯留機能保全区域の指定の方針等を含む流域水害対策計画に基づき実施される、河道掘削、排水機場の機能増強、二線堤の整備等を重点的に支援し、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を一層促進するため、「流域治水整備事業」及び「特定都市河川浸水被害対策事業」を創設。

###### ➤ 水災害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくりを支えるための税制の特例措置

河川沿いの低地や流域内の窪地など洪水や雨水を一時的に貯留する土地が有する浸水の拡大を抑制する効用を保全するため、貯留機能保全区域の指定を受けている土地に係る固定資産税及び都市計画税を軽減する特例措置を創設。

###### ➤ 高台まちづくりを推進するために住民負担の軽減や円滑な合意形成を図るための税制の特例措置

令和2年12月に策定した「災害に強い首都『東京』形成ビジョン」等に基づき、大規模氾濫時の壊滅的被害を防ぐ高台まちづくりを推進し、高規格堤防整備事業の加速化を図るために税制特例(固定資産税、不動産取得税)を2年間延長。



## ＜流域治水型の災害復旧の促進＞

### ➤ 流域治水型災害復旧制度の創設(直轄事業・個別補助事業)

本川上流や支川において堤防の決壊や越水が発生した場合、遊水機能を確保しつつ、早期に浸水被害の軽減が可能な輪中堤や遊水地の整備を災害復旧事業として実施できるよう「流域治水型災害復旧制度」を創設。

## ＜林野庁との連携による流域流木対策の推進＞

### ➤ 大規模特定砂防等事業の拡充(個別補助事業)

土砂・洪水氾濫等に伴い発生する流木による被害拡大を防止するため、「大規模特定砂防等事業」において、林野庁と連携して作成した流域流木対策計画に位置付けられた流木補捉施設を補助対象に追加。

## ＜津波防災地域づくりの推進＞

### ➤ 津波・高潮危機管理対策緊急事業の拡充(防災・安全交付金)

南海トラフ巨大地震等の切迫する巨大地震に伴う津波対策として、「津波・高潮危機管理対策緊急事業」を拡充し、津波災害警戒区域等の指定に資する経費について総事業費に占めるソフト対策の上限2割を超えた支援を可能とした上で交付対象に追加。

## ＜治水安全度を向上させるための橋梁の改築・撤去の推進＞

### ➤ 特定構造物改築等事業の創設(個別補助事業)

計画高水流量に対して流下能力が低く、洪水の安全な流下を阻害している橋梁や堰等の改築・撤去を計画的・集中的に実施するため、「特定構造物改築等事業」を創設。

## 【国土強靱化に資するDXの推進】

## ＜持続可能なインフラ整備・管理につながるDXの推進＞

### ➤ 下水道情報デジタル化支援事業の創設(防災・安全交付金)

下水道管路に関する情報の一元管理によるマネジメントの高度化・効率化を図るため、下水道管路に関する情報等のデジタル化に必要な経費を支援する「下水道情報デジタル化支援事業」を創設。

## 【インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスサイクルの実現】

### ＜老朽化対策の推進＞

#### ➤ インフラメンテナンス事業の創設(個別補助事業)

河川・ダム・砂防・海岸分野において、建設後 50 年以上経過する施設の割合が増加していくことを踏まえ、インフラ長寿命化計画に基づき、個別施設計画の見直しや定期点検等により確認された更新が必要な施設への対策等、インフラ老朽化対策を計画的・集中的に実施するため、各分野において「インフラメンテナンス事業」を創設。

## 【カーボンニュートラルの推進】

### ＜下水道事業における脱炭素化に向けた取組の推進＞

#### ➤ 下水道脱炭素化推進事業の創設(個別補助事業)

カーボンニュートラルの実現に向けて、下水道事業の脱炭素化を加速するため、温室効果ガス削減効果の高い創エネ・一酸化二窒素対策を計画的・集中的に支援する「下水道脱炭素化推進事業」を創設。

## 【公衆衛生の強化等のための下水道の持続性向上】

### ＜公衆衛生の強化等に向けた取組の推進＞

#### ➤ 下水道整備推進重点化事業の拡充(社会資本整備総合交付金)

令和8年度までの汚水処理施設の概成に向けて、未普及対策を推進するため、「下水道整備推進重点化事業」を拡充し、下水道整備の加速化を図る市町村を交付対象に追加。

#### ➤ 下水道広域化推進総合事業の拡充(社会資本整備総合交付金)

下水道事業のさらなる広域化・共同化を促進し、持続性を向上させるため、「下水道広域化推進総合事業」を拡充し、下水道以外の汚水処理施設と共同で汚水処理を実施する場合の要件を緩和。

## 【盛土による災害防止の推進】

### ＜砂防指定地内等における盛土による災害防止の推進＞

#### ➤ 盛土緊急対策に係る支援事業の創設(防災・安全交付金)

都道府県等による盛土の総点検を踏まえ、砂防指定地内等における地方公共団体が行う盛土の安全性把握のための詳細調査や、行為者等による是正措置を基本としつつ、盛土の撤去、擁壁設置等の対策工事への支援事業を創設。

## ●その他

#### ➤ 流域治水プロジェクトの取組状況の「見える化」

流域治水のもと、ハード整備の効果の最大化を図るために、あらゆる関係者の協働によるハード・ソフトが一体となった事前防災対策の取組状況を「見える化」することにより、地域が抱える諸課題に対し、先行事例を踏まえた優良事例の横展開など内容の充実・強化を図るとともに、今後、ソフト対策等へ積極的に取り組むプロジェクトへの重点的な支援を実施。

# 「河川愛護月間」“絵手紙”入賞作品決定!

国土交通省水管理・国土保全局治水課

国土交通省では、河川環境の保全・再生への取り組みを推進するとともに、国民の河川愛護意識を醸成することを目的として、毎年7月を河川愛護月間と定め、様々な活動を行っています。

本年度も月間行事の一環として、全国の小学生・中学生・高校生・一般の方々を対象に、川での思い出、川への思いを一枚のはがきに絵と文章を組み合わせて描いた絵手紙を募集したところ、全国各地から気持ちのこもった作品が多数(877点)寄せられました。

審査は、小学生低学年の部・小学生高学年の部・中学生の部・高校生の部・一般の部の5区分で行われ、この度、国土交通大臣賞(最優秀賞)1点、国土交通事務次官賞(優秀賞)6点、水管理・国土保全局長賞(優良賞)8点、審査員特別賞5点(計20点)が決定しました。

なお、入賞作品については、来年度の「河川愛護月間」ポスター、チラシ等に使用するほか、河川愛護活動の推進に幅広く活用します。

## <審査員>

- 安齋 千鶴子 (元東京造形大学教授)  
石橋 真理子 (ライター)  
大平 信弘 (絵手紙募集実行委員会顧問)  
小倉 紀雄 (東京農工大学名誉教授)  
水野 麻紀子 (小学館ライフスタイル局  
チーフ・プロデューサー)  
山崎 登 (国土舘大学防災・  
救急救助総合研究所教授)  
井上 智夫 (国土交通省水管理・国土保全局長)

主催：国土交通省

協賛：一般社団法人 建設広報協会  
公益社団法人 日本河川協会  
一般財団法人 河川情報センター

受賞者及び入賞作品は、以下のとおりです。

令和3年度 河川愛護月間絵手紙 受賞者一覧

賞	部門	都道府県	学校名	学年	氏名
最優秀賞 (国土交通大臣賞)	中学生	静岡県	いわたしりつ とよだみなみちゅうがっこう 磐田市立豊田南中学校	2	おおた かれん 太田 かれん
優秀賞 (国土交通事務次官賞)	小学校低学年	京都府	ながおかきょうしりつながおかだいきゅうしょうがっこう 長岡京市立長岡第九小学校	1	まつもと ゆか 松本 悠加
	小学校高学年	徳島県	とくしまし かもなみなみしょうがっこう 徳島市加茂名南小学校	6	おかもと さき 岡本 彩佐
	小学校高学年	香川県	ひがし しりつ おおちしょうがっこう 東かがわ市立大内小学校	5	にった れん 新田 蓮
	中学生	兵庫県	とよおかしりつとよおかみなみちゅうがっこう 豊岡市立豊岡南中学校	3	まなべ りこ 真鍋 莉胡
	高校生	鳥取県	よなごしょういん こうとうがっこう 米子松蔭高等学校	3	ささお きくら 笹尾 咲来
	一般	東京都			こが ゆいか 古賀 結花
優良賞 (水管理・国土保全局長賞)	小学校高学年	高知県	こうち しょうがっこう 高知小学校	4	きたむら ろう 北村 琉羽
	小学校高学年	高知県	こうちしりつ ながはましょうがっこう 高知市立長浜小学校	5	たけだ みなほ 武田 南穂
	小学校高学年	長崎県	ながさきだいがく きょういくがくぶ ふぞくしょうがっこう 長崎大学教育学部附属小学校	5	こばやし たくま 小林 拓真
	中学生	徳島県	とくしまし とくしまちゅうがっこう 徳島市徳島中学校	1	ゆあき けいか 湯浅 慶香
	中学生	香川県	みとよしりつ とよなかちゅうがっこう 三豊市立豊中中学校	2	こつな さえ 忽那 紗英
	中学生	大分県	さいきしりつ しょうわちゅうがっこう 佐伯市立昭和中学校	3	なかたに あや 仲谷 彩
	中学生	鹿児島県	かごしましりつ よしのひがしちゅうがっこう 鹿児島市立吉野東中学校	2	たにぐち まりあ 谷口 真愛
	高校生	鳥取県	よなごしょういん こうとうがっこう 米子松蔭高等学校	3	なかもと りん 中本 凜
審査員特別賞	小学校低学年	福岡県	ふくつしりつ つやぎきしょうがっこう 福津市立津屋崎小学校	3	いさと ひらり 諫元 妃莉
	中学生	千葉県	もばらしりつ ほんのうちゅうがっこう 茂原市立本納中学校	2	ふかがわ ゆきのすけ 深川 幸之助
	中学生	香川県	みとよしりつ とよなかちゅうがっこう 三豊市立豊中中学校	2	おおたか ちか 大高 千佳
	一般	栃木県			からさわ まゆみ 唐沢 真由美
	一般	香川県			にった のりあき 新田 憲明

### 最優秀賞(国土交通大臣賞)



静岡県 磐田市立豊田南中学校  
2年 太田 かれん

### 優秀賞(国土交通事務次官賞)

<小学生低学年の部>



京都府 長岡京市立長岡第九小学校  
1年 松本 悠加

<小学生高学年の部>



徳島県 徳島市加茂名南小学校  
6年 岡本 彩佐

<小学生高学年の部>



香川県 東かがわ市立大内小学校  
5年 新田 蓮

<中学生の部>



兵庫県 豊岡市立豊岡南中学校  
3年 真鍋 莉胡

<高校生の部>



鳥取県 米子松蔭高等学校  
3年 笹尾 咲来

<一般の部>



東京都  
古賀 結花

# 優良賞(水管理・国土保全局長賞)

## <小学生高学年の部>



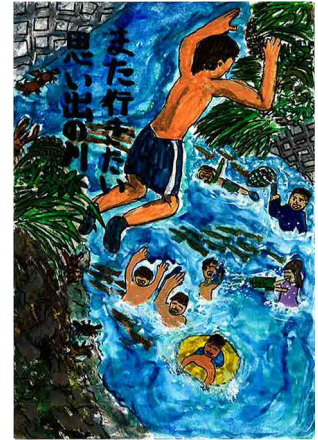
高知県 高知小学校  
4年 北村 琉羽

## <小学生高学年の部>



高知県 高知市立長浜小学校  
5年 武田 南穂

## <小学生高学年の部>



長崎県 長崎大学教育学部附属小学校  
5年 小林 拓眞

## <中学生の部>



徳島県 徳島市徳島中学校  
1年 湯浅 慶香

## <中学生の部>



香川県 三豊市立豊中中学校  
2年 忽那 紗英

## <中学生の部>



大分県 佐伯市立昭和中学校  
3年 仲谷 彩

## <中学生の部>



鹿児島県 鹿児島市立吉野東中学校  
2年 谷口 真愛

## <高校生の部>



鳥取県 米子松蔭高等学校  
3年 中本 凜

# 審査員特別賞

## <小学生低学年の部>



福岡県 福津市立津屋崎小学校  
3年 諫元 妃莉

## <中学生の部>



千葉県 茂原市立本納中学校  
2年 深川 幸之助

## <中学生の部>



香川県 三豊市立豊中中学校  
2年 大高 千佳

## <一般の部>



栃木県  
唐沢 真由美

## <一般の部>



香川県  
新田 憲明